

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

■ 波乱相場のなかでは少額売買が最適！



先月23日の暴落発生以降、押し目買いを掻き消す戻り売りが相場を押し下げている。結果的に今年も「5月売り」を指すアノマリー『Sell In May and go away』が効果を発揮、調整色を深めてきた。

4月後半に「空売り」をテーマとする「厳選5銘柄付き市況分析レポート」の配信を行ったが、提供銘柄のシキボウ(3109)、SBI(8473)、平和不動産(8803)、TOPIXブル2倍(1568)が10%下落率の目標株価を達成。購入者からは調整可能性を予期した市況分析、銘柄アプローチを評価していただいている。

まだまだ相場が波乱含みのなかでは、値動きが大きくくなっているため、リスク限定で短期売買を繰り返していくのが有効な投資戦略となる。今の局面で見送りを決め込んでいけば、今後期待される反騰局面を見逃すことにも成りかねず、少額からの打診売買でも相場に臨んでいくべきだ。また、先月末の暴落から資産を減らしている投資家も多く、少額売買は基本戦略となってくるだろう。

そこで弊社では、値頃感のある「20万円以下」の銘柄を対象とした「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」を発売する。昨年、昨年の同時期にも採用し、提供5銘柄がすべて目標株価となる10%上昇率を達成した実績アーマだ。このレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。